育児・介護両立支援

当社は育児・介護休暇制度を設けており、育児休業復職率は例年100%です。介護休業制度においてもこれまでに取得者がおり、希望者は利用可能です。また、子供の看護休暇や家族の介護休暇を年5日(2人以上の場合は10日)設けており、有給で取得可能です。テレワークが可能な環境も、子育てや介護と両立している社員にとって心強いとの声もあります。

当社は、男性の育児参加の促進は女性活躍につながる重要な取り組みと考え、男性が育児休暇を取りやすいよう、積極的に管理部が声がけをしています。2025年度の当社の男性育児休業取得率は100%でした。

従業員エンゲージメント

従業員エンゲージメントサーベイの実施

当社は従業員が働きやすく、働きがいを感じる職場づくりを推進するため、2023年度、2024年度にエンゲージメントサーベイを実施しました。本社、佐賀事業所、横須賀イノベーションセンタに勤務している正社員を対象に実施し、回答率は各年度100%でした。結果から明らかになった課題については、メンタルヘルスに関する研修の充実や、制度・福利厚生の周知徹底をするなど、引き続き各種対策を講じて課題解消に努めています。

資産形成の支援

当社は、中長期的な働く意欲の向上を目的に、国内社員に対し資産形成に関する制度やサポートを導入しています。2025年に新たに「職場積立NISA」を開始しました。

資産形成に関する制度

退職一時金	正社員として勤続年数3年以上で権利が発生
確定拠出年金	厚生年金の被保険者（一部、非正規社員も対象）を対象に、3つの掛金（事業主、加入者、資産移管）により資産を増やすことが可能
従業員持株会	60歳未満の直接雇用の従業員対象。毎月、定期的に自社株を購入可能（買付単位は1口1,000円、最大50口50,000円）。自社株購入については、給与から購入金額を天引きし、その金額および報奨金（10%）で購入可能
職場積立NISA	直接雇用の従業員（非正規含む、派遣スタッフ除く）を対象に、毎月の給与から希望の金額を天引きし、NISA（少額投資非課税制度）により金融商品を買い付け可能

労働安全衛生

労働安全衛生方針

当社グループは、従業員の健康・安全がウェルビーイングな風土の構築に最も重要な基盤であると考え、労働安全衛生方針に基づき、安全で健康的な職場環境づくりを推進しています。労働災害の防止や安全意識の向上に取り組み、安心して働ける職場を目指しています。

ヤマシンフィルタグループ 労働安全衛生方針

安全衛生マネジメント

安全衛生体制

当社グループは、「Well-being経営の強化」をマテリアリティとして設定し、重大労働災害0件を目標に掲げています。労働災害を未然に防止し、従業員が安全・安心に働ける職場環境を維持するため、グループ一体となった労働安全衛生管理体制を構築しています。

当社の労働安全衛生については、職場環境づくりに関する基本方針を定め、きめ細やかな対応をしています。本社と横須賀イノベーションセンタでは衛生委員会、佐賀工場では安全衛生委員会を月1回開催し、安全衛生リスクの特定、対策状況の共有や報告を行い、労働環境を改善しています。セブ工場やベトナム工場の労働災害状況は、毎月の経営会議に報告され、改善策を協議しています。

労働災害発生状況

2025年度は、グループで10件(国内2件、海外8件)の労働災害が発生しましたが、重大労働災害※の発生はありませんでした。労働災害の原因は担当者の経験不足、不注意や安全事項や作業手順の不遵守によるものが多く、入社時だけでなく、日々の作業時にも安全事項の遵守について周知を徹底するなど対策を講じています。今後も、安全対策の実施と徹底に継続的に取り組み、労働災害の発生防止に努めていきます。

※重大労働災害:一度に3人以上の労働者が業務上死傷またはり病した災害

労働安全衛生

労働災害発生件数

（件）

	範囲	2023年度	2024年度※2	2025年度※2
労働災害発生件数（うち重大労働災害件数）	国内拠点※1	1（0）	3（0）	2（0）
	セブ工場	14（0）	7（0）	8（0）
	ベトナム工場	0	0	0（0）

※一部拠点のデータ算定方法の見直しに伴い、過年度実績値を修正しています
※1 2023年度:単体、2024・2025年度:単体、アクシー
※2 2024年度、2025年度の対象範囲は、生産比率で100%を占めます

ESGデータ（労働災害状況）

2025年度労働災害内容と対応策

拠点	けが・事故の内容	対応策
佐賀事業所	部品の飛散により、頭部裂傷および指の挫創	検査具の安全対策強化、操作位置の見直し、保護具（保護メガネ・キャップ）の着用義務化など
セブ工場	切り傷（足、腕、手指）、骨折（手の指）、ワイヤーの眼への接触など	保護具（腕カバー、手袋、ゴーグルなど）の着用について周知徹底、安全な作業手順について再周知、安全確保のためのレイアウト変更、作業経験者の適正配置など
アクシー	端材による転倒、手関節靭帯損傷	端材収納箱の形状変更

労働災害防止の取り組み

当社の国内外各工場では、定期的な安全パトロールにより、安全面での設備改修が必要な箇所の特定や、安全ルールについて遵守状況の確認を行い、事故の未然防止に努めています。特に健康へのリスクが高いとされる、高温のナノファイバー室や有害化学物質、危険物質を扱う工場の一部工程では、作業手順書に則った研修を実施しており、担当者は必ず受講しています。加えて健康への危険度が高い箇所には、排気ダクトを設置し、作業者は防毒マスクやファン付作業服などの装着を徹底しています。また、2025年度からは、このような環境下で働く従業員を対象に、特殊勤務手当の支給を開始しました。

労働安全衛生に関する教育・研修

当社グループでは、労働安全衛生に関する教育・研修を定期的に行っています。2025年度は、ベトナム工場、アクシーにおいて、さまざまな労働安全衛生研修に従業員が参加しました。

2025年度労働安全衛生に関する研修実績

研修テーマ	対象拠点	延べ参加人数（名）	実施日数・回数
▪安全衛生責任者講習 ▪消防避難訓練 ▪熱中症対策研修	佐賀事業所	88	合計4日間
▪労働者のための安全衛生 ▪応急手当訓練 ▪地震および火災避難訓練 ▪化学物質（有害物質）対処法 など	セブ工場	1,589	56回
▪労働安全衛生研修 ▪電気安全研修 ▪火災予防訓練 ▪化学薬品安全研修および事故訓練 など	ベトナム工場	490	4回
▪安全衛生ガイドライン研修 ▪熱中症予防および処置方法研修 ▪心肺蘇生法研修 など	アクシー	496	5回

心身の健康維持と過重労働防止

当社は、従業員が心身ともに健康で安心して働ける職場環境づくりを推進しています。産業医による健康相談を実施しているほか、毎年ストレスチェックを行い、体調悪化の早期発見・早期対応に努めています。

また、管理部が毎月従業員の労働時間を確認し、一定時間を超えた場合には本人および上司へ注意喚起を行うことで、過重労働の防止につなげています。

請負業者の安全確保

当社では、請負業者を含むサプライヤーの労働安全衛生の向上に努めています。仕入先監査の際には、作業現場の安全管理状況を確認し、必要に応じて改善をお願いしています。具体的には、作業場の換気、保護具（安全靴）の着用、暑熱対策などについて確認・指導を行い、安全で健康的な作業環境の維持・向上を支援しています。

労使協定

当社には労働組合はありませんが、各拠点で労働者代表を選出し、36協定を含めた各種の労使協定を締結しています。労使協定締結内容に関する事柄は、イントラネットに掲載するなど周知徹底しています。労使対話の一環として、事業方針説明会・懇親会、新入社員歓迎会、納会やソフトボール大会などの社内イベントを開催することで、親睦と信頼関係の構築に努めています。

世界三大感染症への対策

当社は、世界三大感染症と呼ばれるHIV/AIDS、結核、マラリアへの対応は、グローバルに事業を展開する上で重要な課題であると認識しています。国内従業員は、毎年法定健康健診において胸部X線検査を行い、結核の早期発見と感染拡大予防を図っています。

海外子会社では、全従業員を対象に年1回の健康診断を実施しています。また海外赴任者や帯同家族に対しては、各国の規制要件を遵守し、渡航に必要な予防接種を案内しており、本人の健康状態・既往歴・接種歴など医療機関と相談のもと、任意でマラリアなどの予防接種を行っています。